市民ネットワーク

千葉市議会 2022 年第 4 回定例会（2022 年 11 月 29 日～ 12 月 16 日）

松井かよ子の市議会報告

市民によりそい、生活に役立つ対策を着実に

議案から

今議会では、光熱費の増額や物価高騰への対応など複数の議案を可決しました。エネルギー価格の上昇で、電気・ガス料金の値上げなど、影響は多方面に及んでいます。新型コロナウイルス感染症の動向もまだ予断を許しません。厳しい状況に置かれる市民によりそい、市民生活に役立つ対策を着実にすすめるよう求めました。

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策事業について、補正予算が成立しました。審議の中で、これまでの取り組みを聞きました。

自宅療養者への支援として、昨年 11 月 29 日までの延べ人数で、配食サービス 41,319 人、パルスオキシメーター貸与 20,509 人、往診・オンライン診療 2,104 人、宿泊療養 4,422 人の利用がありました。「配食サービスに食べづらいものがあり仕様を変更した」「宿泊療養の入所に 2 - 3 日の待ちが生じた」などの反省点もあったそうです。

市民の声として、「療養解除の日がわからず困った」「配食サービスの中にゆで時間 10 分の乾麺があったが、具合の悪い人が長時間調理をするのは難しい」などを伝え、今後に向け一層の改善を求めました。

市の施設を管理する「指定管理者」を決定

「公民館（全４７館）」「中央コミュニティセンター」「亥鼻公園集会所」「下田都市農業交流センター」「栄町立体駐車場」「千葉公園総合体育館および第１駐車場」「千葉市休日救急診療所」「千葉市霊園（桜木霊園・平和公園）」について、本年 4 月からの指定管理者が決まりました。

今ある施設の特性を活かし、「自主事業の充実」「市民サービスの向上」「利便性を良くするための工夫」について、指定管理者とも協議してすすめていくよう要望しました。

子育て支援は親支援！

国の補正予算により、届出を行った妊婦 1 人につき 5 万円、新生児 1 人につき 5 万円の支給が決まりました。

支給にあたり、これまで実施していた妊娠初期、出産後に加え、妊娠後期の面談が実施されます。取り組みは評価しますが、例えば「面談で紹介された一時預かりが使えなかった」がないように、お金だけではない子育て支援策の充実を要望しました。

保育士の国基準の見直しを

送迎バスの置き去り事故を受けて、①送迎バスの安全装置　②登園管理システム　③こどもの見守りタグ（GPS 等）の導入支援が決まりました。

安全装置や見守りタグを入れても、事故を防ぐためには人の手と目が必要です。コロナ禍でおもちゃや保育室の消毒など保育士のやるべき仕事は増えていますが、国の配置基準は改善されず、現場は常に人手が足りていません。こども 1 人だけでも大変ですが、国基準では「1 歳児 6 名に対し保育士 1 名」です。

市でも保育の状況を確認し、市民が安心してこどもを預けられるよう環境の整備を求めました。

危険！「カシノナガキクイムシ」

カシノナガキクイムシが、ナラ・シイ・クヌギなど、どんぐりのなる木の幹に侵入することによって起こる「ナラ枯れ」について、市内全域での被害拡大の防止対策をおこないます。

マンション等民有地についても注意が必要です。ナラ枯れについての情報を、対処方法も含め広く自治会や市民に知らせるよう求めました。

ナラ枯れ被害の様子

千葉市こども基本条例検討委員会を設置

こども基本条例の制定に向けて、今年度から 2024 年度まで検討委員会を設置します。児童虐待や不登校、こどもの貧困などの課題に的確に対応するには、行政だけでなく社会全体で取り組むことが不可欠です。すでに札幌市の「子どもの最善の利益を実現するための権利条例」など、政令市９市で同趣旨の条例が制定されています。

こどもが生きやすい社会は、誰にとっても生きやすい社会であり、すべての人を大切にする社会づくりの第一歩です。市民ネットワークは、子どもの権利条約にある４つの権利「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」の実現に向けて、条例制定を評価します。

15 年前の意見書がようやく実現！

2007（平成 19）年第 1 回定例会で市民ネットワークが提出した「民法の再婚禁止期間・嫡出推定期間等の改正を求める意見書」が、2022 年 12 月の民法改正によって実現しました。特に、嫡出推定規定については、民法が施行された 1898（明治 31）年以来の見直しです。

女性のみに設けられた離婚後 100 日間の再婚禁止期間が撤廃されました。また、離婚後 300 日以内に生まれた子は、母親が再婚していれば現夫の子とみなす例外規定が設けられます。出生届提出をためらい、無戸籍となる子の問題解消につながります。

市民ネットワークは、引き続き、女性やこどもの権利を尊重し、不利益を社会全体で解決できるよう活動していきます。

2023 年度予算編成に向けて

市民とともに考え、つくりあげた要望書

神谷市長と市民ネットワークちば運営委員

『2023 年度予算編成に向けての要望書』を昨年 10 月 20 日、神谷市長に提出しました。市の施策について、声を出しづらい市民によりそうこと、市民の参画を得て事業計画を策定すること、情報を公開し適切に発信していることなど、市民ネットワークが大切にしている視点を盛り込み、様々な声を聞きながらまとめました。

詳細はホームページをご覧ください→

予算要望

2023 年第 1 回定例会

2 月 16 日（木）～ 3 月 8 日（水）の予定

詳しくは千葉市議会 HP をご覧ください。

市民ネットワーク　市議会議員

市民ネットワーク会派の HP で
質問・討論内容がご覧になれます。
http://shimin-network.jp/

会派

岩﨑明子（若葉区）　松井かよ子　山田京子（若葉区）

□市民ネットワークは千葉市議会の会派です。議会・市政へのご意見をお寄せください。http://shimin-network.jp/